



松前城跡碑。河野氏の時代からあった松前城に文禄4年(1595)加藤嘉明(33歳)が淡路から6万石で移封。この地にあった金蓮寺を現在地に移転し、城を大拡張整備した。関ヶ原の戦いの功により20万石となった嘉明は、慶長8年(1603)松山城に移り、松前城は廃城となった。



加藤嘉明の家臣で松前を去った塙団右衛門の説明板(松前城跡)。



平田東助子爵撰文の「義農頌徳碑」。石は塙団右衛門見返りの石。(義農公園)。



松前城の拡張で移転した金蓮寺。太平記にでる寺としても有名。



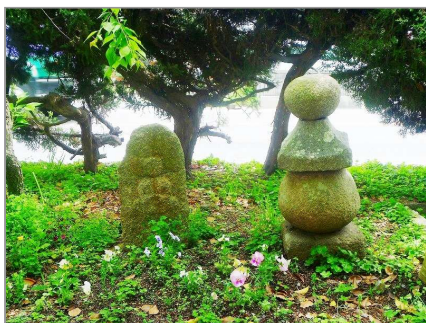
松山城に移築した筒井門のあった場所。筒井門礎石が道路面に残っている。



矢野地蔵。筒井門解体時家臣矢野某の頭に棟木が落ち圧死。礎石の上に地蔵を安置し供養。



松前城二ノ丸跡の「籠燈の松」が大正11年台風で倒壊。その切り株。(文化センター前)。



明治42年の耕地整理時松前城二ノ丸跡より出土した五輪塔と石地蔵。(松前小学校)。



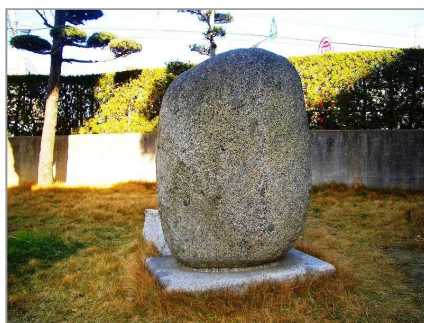
出光美術館蔵松前城跡より出土した青白磁刻花渦文梅瓶(写真は同館HP)。



明治42年の耕地整理時松前城跡より発掘された塔の礎石。(妙寛寺境内)。



平成2年下水道工事で松前城跡周辺から、出土した城石を利用した親水公園。(有明公園)。

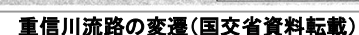
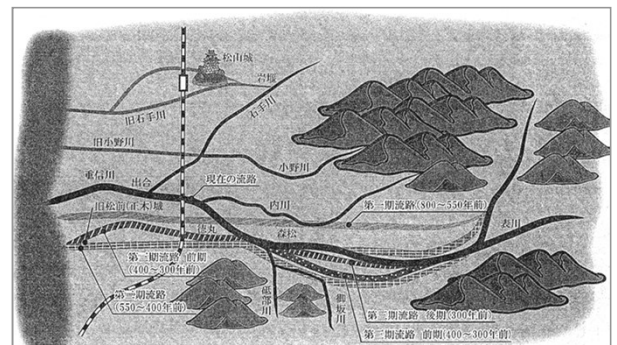
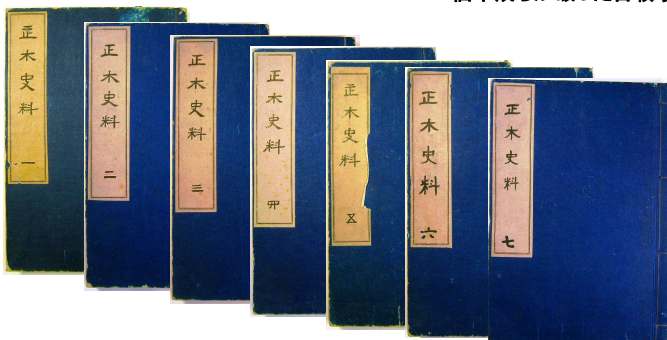
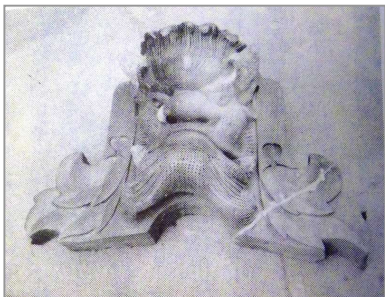
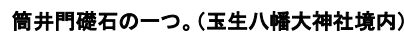


「五月雨や漁婦ぬれてかかへ帯」子規。松前城跡の残石を利用した句碑(松前中学校)。



松前から移転した松山城。家臣・商人・寺院・政治・経済ともに移転した。

松前城跡と関連史跡 (1/2)



松前城跡と関連史跡 (2/2)

松前城年表

西暦	事 項
1336	河野通時・祝安親ら宮方の合田弥四郎貞遠を松前城に攻める。 建武年間 松前城が文書に登場(675年前)
1336	湊川の戦いで楠正成を討った功により、砥部の豪族大森彦七が松前城主を兼ねた。
1365	河野通堯は伊予の守護仁木義尹を松前城に攻める。
1368	松前城主宍草入道を河野通直が攻められ負ける。
1444	河野教通が松前城を忽那通定氏に譲る。
1481	松前は荏原平岡氏の支配下へ。
1490	この頃松前城主は栗上氏(河野家家臣)。
1565	豊後の大友氏の武将伊予に来襲(河野氏の勢力を抑え、瀬戸内進出意図)
1572	安芸の毛利氏の武将、河野氏対決のため松前に上陸。
1585	土佐の長宗我部氏四国全土統一(河野通信和を請う)
1585	河野通直が隆景に降伏。松前城主栗上氏も小早川隆景に降伏する(秀吉の四国統一)
1586	伊予国内の城主退去、在地勢力の消滅と中央集権化(城割制)
1588	栗野木工頭秀用が松前城主(10万石)となったが、秀次事件に連座除封された。
1595	加藤嘉明(33歳)が淡路から6万石で移封
1596	金蓮寺を現在地に移転、伊予川を改修して城郭及び松前港の大拡張を行った。
1597	加藤嘉明松前港から2400余名の将兵を率いて朝鮮に出兵。
1598	加藤嘉明慶長の役および永年の戦功で10万石に加増。
1600	嘉明関ヶ原の戦いの前哨戦岐阜城攻めに参加。西軍と激突し勝利。 関ヶ原戦の留守中に毛利勢3000が三津に上陸、 河野の残党と松前城うかがうが、佃十成らの勇戦により撃退。
1601	嘉明関ヶ原の戦いの功で20万石(伊予半国)の大名に。
1601	幕府の許可を得て、松山築城に着手。 筒井門解体時家臣矢野某の頭に落ち圧死。矢野地蔵を安置し供養。 筒井門礎石は4個あったが、道路面に1個と地蔵尊の下に1個、他は不明。
1603	加藤嘉明松山城へ移る。松前城は廃城。徳川家康が征夷大將軍。
1908	明治41年実施の耕地整理により城跡は急速に破壊されていった。
1922	大正11年11月23日籠燈の松が倒壊して松前城をしのぶものが無くなった。 (樹齢338年 1583年植樹)
1925	大正14年記念碑を建立[「松前城跡」の碑(秋山好古題額、西園寺源透撰文)]
1969	「松前城跡」は昭和44年3月に町指定史跡となった。

(参考)その後の加藤家

- 1614 加藤嘉明大阪冬の陣(江戸城留守居役)。
- 1615 加藤嘉明大阪夏の陣(秀忠に従い従軍)。
- 1619 福島正則が無断で広島城の修築で所領没収。その時嘉明がその地の警備。
- 1625 足立重信松山城郭の完成を目前に病没、城の見える来迎寺に墓。
- 1627 加藤嘉明が会津40万石で移封。
- 1631 加藤嘉明は寛永8年(1631)江戸桜田にて死去(68歳)。
- 1643 加藤嘉明の子・明成は会津騒動で除封。孫・明友に石見1万石を拝領。
後に水口2.5万石として歴代明治まで続く。

加藤嘉明年表

年齢	西暦	年号	事 項
1	1563	永禄 6年	三河国に生まれる。幼名孫六・実名茂勝 祖父朝明(甲斐武田家の家来) 父岸三之丞教明(旧松平家の家来)
2	1564	永禄 7年	三河国一向一揆和議成立(7月)
13	1575	天正 3年	近江長浜にて加藤景泰の推挙で秀勝の小姓 加藤景泰の養子となり加藤嘉明と改名
16	1578	天正 4年	秀吉の播磨攻めに従軍 初陣
18	1580	天正 8年	播州三木城攻め(別所長治) 450石
19	1581	天正 9年	因州鳥取城攻め(吉川経家)
20	1582	天正10年	備中高松城攻め(清水宗治) 本能寺の変—山崎の合戦 200石加増 清洲会議(羽柴秀吉—三法師 対 柴田勝家—織田信孝) 大徳寺で信長の葬儀
21	1583	天正11年	賤ヶ岳の戦い(越前・加賀を平定) 3000石・近習から物頭役へ
22	1584	天正12年	小牧長久手の戦い
23	1585	天正13年	根来雑賀の乱—紀州進攻 四国攻め(長宗我部元親) 従五位下左馬助
24	1586	天正14年	九州攻め 大友氏支援—淡路志知城1.5万石 水軍を率い臼杵・川内へ出陣
28	1590	天正18年	小田原攻め 北条氏政・氏直 海上封鎖—小田原城包囲 佃十成賞詞を受ける 家康関東へ 秀吉全国平定
30	1592	文禄元年	文禄の役 淡路水軍1000名 1700石加増
33	1595	文禄 4年	松前城入部 伊予・久米・温泉・乃万4郡6万石
35	1597	慶長 2年	慶長の役 水軍2400人 再出兵
36	1598	慶長 3年	慶長の役の功で10万石 秀吉死去
38	1600	慶長 5年	岐阜城攻め、関ヶ原の戦い勝利、毛利勢伊予侵攻するが撃退する
39	1601	慶長 6年	関ヶ原の戦いの戦功で伊予半国20万石
41	1603	慶長 8年	松山城へ移る 家康征夷大將軍・江戸幕府
42	1604	慶長 9年	加藤と藤堂の家臣同士の争いに幕府仲裁(忠明と高吉ともに出家)
44	1606	慶長11年	江戸城修築に従事
47	1609	慶長14年	名古屋城築城に従事
52	1614	慶長19年	大阪冬の陣 江戸城留守居
53	1615	慶長20年	大阪夏の陣 秀忠に従い従軍
57	1619	元和 5年	福島正則改易—広島城接收
58	1620	元和 6年	大阪城修築に従事
61	1623	元和 9年	従四位下に叙せられる
64	1626	寛永 3年	侍従に任ぜられる
65	1627	寛永 4年	会津42万石へ移封
69	1631	寛永 8年	江戸桜田の会津藩邸にて死去 69歳

高野山御廟橋の奥に嘉明の五輪塔 近くには近衛家・春日局の供養塔
松光院殿の墓所は京都市大谷租廟

歴代藩主

1加藤嘉明、2明成、3明友、4明英、5嘉矩、6明経、7明熙、8明堯、9明陳、10明允、
11明邦、12明軌、13明實

子・明成は会津騒動で除封、孫・明友に石見吉永1万石(50年間)・後に江州水口2万石(13年間)、
明英に栃木下野壬生2.5万石(17年間)、嘉矩に江州水口2.5万石として歴代明治まで続く